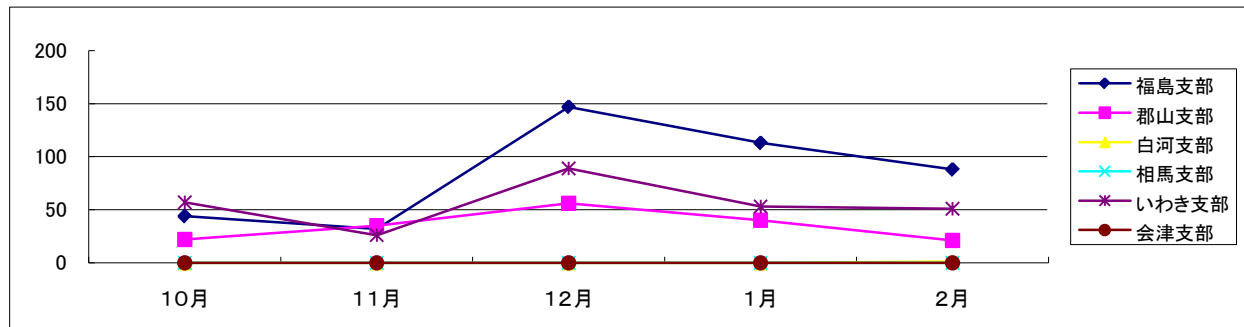


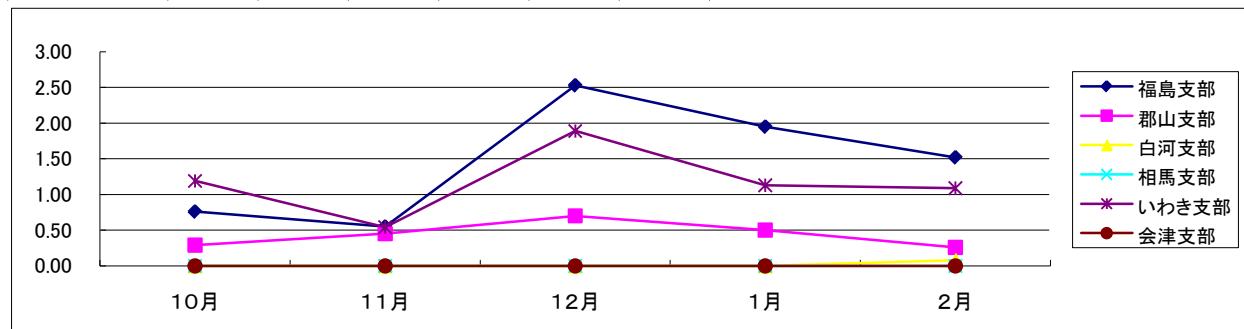
# 1 各支部電子申請件数推移(H21.10～H22.2)

支部名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
福島支部	44	32	147	113	88	
郡山支部	22	35	56	40	21	
白河支部	0	0	0	0	1	
相馬支部	0	0	0	0	0	
いわき支部	57	26	89	53	51	
会津支部	0	0	0	0	0	



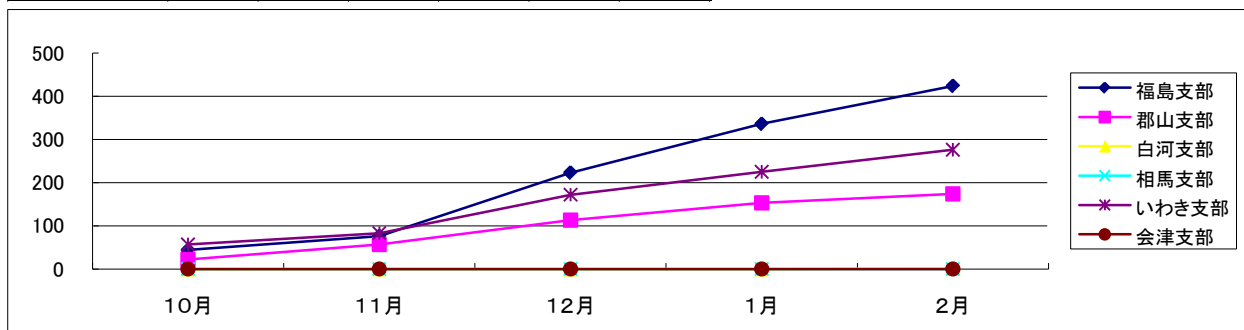
## 2 各支部開業会員一人当たり電子申請件数推移(H21.10～H22.2)

支部名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
福島支部	0.76	0.55	2.53	1.95	1.52	
郡山支部	0.29	0.45	0.70	0.50	0.26	
白河支部	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	
相馬支部	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
いわき支部	1.19	0.54	1.89	1.13	1.09	
会津支部	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	



## 3 各支部開業会員一人当たり電子申請件数累計(H21.10～H22.2)

支部名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
福島支部	44	76	223	336	424	
郡山支部	22	57	113	153	174	
白河支部	0	0	0	0	1	
相馬支部	0	0	0	0	0	
いわき支部	57	83	172	225	276	
会津支部	0	0	0	0	0	



### 【委員長コメント】

「なぜ、電子申請なのか」そのロジックはこうです。『手続業務は我々の基幹業務である→基幹業務である所以はそれを代理・代行することに価値があるからである(顧客は委託することで何らかの価値を得ている)→電子申請という新たな手段は、その基幹部分の価値を低下させるリスクがある(誰でもできるようになる可能性を含んでいる)→現段階では電子申請は誰でもできるような段階ではない→この段階で社労士の占有分野にしてしまうことは、手続業務の価値を低下させない→それには、実績と言う事実が必要である→各支部の申請件数を可視化し、より多くの会員の皆様に意識を持っていただき、より多くの実績につなげる必要がある。→実績を持って政府にものを申す(社労士が使いやすいように変えさせる)→独占業務化……』やや、無理のあるロジックですが、組織として何ができるかを、大きな心と長い目でとらえていただき、ご協力いただければ幸いです。